

多少の譲歩を餘儀なくさせる位のは出来た。ラサールの行つた共産主義の宣傳は、此種の目前の利益を目標として居つた。ラサールは亦、ビスマルクの辛辣な迫害を、出来得る限り無難に滑り抜ける方法として、共産主義をなるべく安全無害なものに見せようとした。敵を引裂くだけに鋭い爪をもたぬ若し獅子は、まづ小羊の振りをして牧場へまぎれ込む必要があつたのである。ラサールは、労働者は普通選挙に依つて勢力を得、國家の機關を利用して生産組合を作り、その生産組合が漸次に資本主義の社會を社會主義の社會に變へて行くに依つて、平和的手段に依つて共産主義が實現せられるように説明した。此宣傳のために、労働者は國家が資本家の手に在ると、労働者の手に在るとを問はず、たゞ國家の萬能を信するようになった。

然し一八七八年より一八八〇年にかけて、ビスマルクの猛烈なる迫害政策の結果、労働運動の闘士の間には、熱烈な反國家的氣分が養成せられ、社會革命に依つて、一舉に此資本主義の根城を覆したいといふ希望が抱かれ始めた。この氣分は一八八〇年代に歐羅巴の經濟界を脅かした久しい不景氣に依つて、一層濃厚にされた。

けれどもこれとて、一八七〇年代に資本主義國家が確立されて以來續いて居つた、改良主義者がひのせにせ共産運動が、一時休息したゞけのことに過ぎなかつた。労働者が多少勢力を恢復し、最も露骨な迫害が多少緩和せらるゝや否や、又々せ共産主義の宣傳が行はれ始めた。一八九〇年代には、特に電氣及び鐵工業勃興の結果として、經濟界は急激に發達し、資本主義全盛の時代が實現したが、これがえせ共産主義の跋扈を助けたことは非常なものであつた。一八八〇年代以降、米國農業の發達のお蔭で、穀物は廉くなり、好景氣の結果として賃銀は高くなつて來た。政府は多少迫害の手をゆるめて、社會改良の約束をした。労働者は何處でも議會に代表者を送るようになった。労働者の中の貴族階級は高い賃銀を儲けるようになった。斯様に一見うまい事づくめになつた結果、革命は資本主義發達の或時期に限つて必要なもので、今日では其時期を過ぎ去つたといふ考へも、労働階級はブルジョア階級に段々に譲歩を餘儀なくさせ、最後何の争闘もなしに、労働者に都合な社會組織が實現するといふ虫のよい、おめでたい信念となつた。労働者の頭にこびりついてしまつたのである。

伊本利の「レバリス」等が、ラサール等が持つて上げた改良主義（修正主義）の理論になつて、學理的に現はされたのである。改良主義の要諦は、「資本主義の進化は、無産階級とブルジョア階級の懸隔を激しくする代りに、却てそれを緩和する傾向にある」といふにある。改良主義は社會主義革命の實行を主張し、其代りに社會改良に依る進化を主張し、革命的理論である。改良主義は御親切千萬にも、革命を斥て、議會政策と組合及び共済團體の組織とを労働階級に向つて忠告したのであつた。

「三」 改良主義的空想の破産

けれども資本主義進化の實際は、修正派の注文通り、革命を不必要にするどころか、却て修正派の夢想が一顧の價値もないことを曝露した。貴族階級は新興農業國に對抗するために、農産物に關稅を賦課して食糧品の價格を引上げた。資本主義發達の結果として、資本家の大團結であるトラストが形成され、トラストは單に手工業者のみならず、中流のブルジョア階級の凋落をも促した。トラストは製造家の團體を保護するために、工業品に對しても高い關稅を課することを要求した。彼等は貴族階級と共謀して人民を掠奪した。同時にトラスト發展の結果として、労働組合に對する資本家の威力は著しく増大した。小さな個々の製造家には容易に打勝つことの出来た組合も、何萬人の労働者を備つてゐる鋼鐵王や炭坑王によく對抗するだけの力はなかつた。以前には、或る紡績工場で賃銀に不満を抱く者は、他の工場に移ることが出来た。所がトラストを作つてゐる炭坑王や鋼鐵王は組合を認めず、労働者の要求には頑として耳を籍さず、黒表によつて労働者と對抗することを知つてゐる。工場や市場での無産階級とブルジョア階級の争ひは、帝國主義的政策のために、一層激しくなつた。軍國主義のための租稅の増加、戦争の危険の切迫、組合との争争、是等の原因が結び合つてブルジョア階級をして益々労働階級を壓迫させるようになった。搾取が辛辣を極めるは